

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
D401	卒業研究 / EXゼミⅢ	4年	演習	4	山島哲夫
<b>授業概要</b> 卒業論文を作成する前提として、ゼミ生のまちに対する問題意識をゼミ生同士の討議の中から明らかにする。また、その問題意識を論文作成へとつなげる資料収集の方法、論文の構成方法等を様々な事例から理解させ、論文としての完成度を上げるように指導する。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> 4年間の学習のまとめとして卒業論文を完成させる。(DP1、2、4)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	卒業論文の課題について	ゼミ生の問題意識について討議			
2	卒業論文の課題の検討	卒業論文に向けた課題について討議			
3		ゼミ生全体での討議			
4		ゼミ生全体での討議			
5	卒業論文のテーマ設定	ゼミ生全体での討議 テーマ設定についての意見交換			
6	テーマ設定と討議	個別の指導と全体でのディスカッション			
7	卒業論文の資料収集	資料収集方法についての全般的な講義			
8		個別に資料収集状況を確認し指示する			
9		検討状況の報告を受け、資料収集等を指導			
10		ゼミ生より検討状況を報告させ、個別に指導			
11		ゼミ生より検討状況を報告させ、個別に指導			
12		検討状況全体についてコメントと全体での討議			
13	中間報告に向けた準備	これまでの検討結果の報告を受ける			
14	卒業論文の中間報告	ゼミ生の発表及び討議			
15	夏季休業中の作業方針について	夏季期間中に詰めるべき内容等を指示する			
16	論文に対する問題点等の討議	検討状況の報告(1)			
17		検討状況の報告(2)			
18		追加検討すべき点の討議			

19	論文作成方法について	論文作成方法の基本について講義と指導
20		論文の構成方法等について講義と個別指導
21		参考文献等の取り扱い方法の講義及び個別指導
22		論文の概略についてメモを提出させ報告を受ける
23		個別指導
24	中間発表	中間発表とゼミ生の意見交換
25		最終的な論文作成に向けた指導 論文の形式
26		最終的な論文作成に向けた指導 論証方法
27		最終的な論文作成に向けた個別指導
28	卒業論文発表	最初の1/3のゼミ生の発表と討議
29	卒業論文発表	次の1/3のゼミ生の発表と討議
30	卒業論文発表	残りの1/3のゼミ生の発表と討議

準備学修(授業外の自己学修)

- 1.卒業論文をまとめるためには、関連するテーマに関する幅広い知識が必要になる。ゼミの中で紹介する本や資料は、必ず読んで理解しておくこと
- 2.レポートや資料の作成は、期限内に提出することが最終的な論文作成につながるの、時間的な余裕をもって作業に取り掛かること

成績評価の方法・基準(%表記)

ゼミ活動の参画状況及びレポート等の提出状況 50%、卒業論文又は卒業研究の内容 50%

観点	S	A	B	C
卒業研究の内容等に関する討議ゼミ生同士の討議に対する貢献 DP1	中心的な役割を果たしている	討議に積極的に参加し貢献している	討議に参加し貢献している	討議に参加している
卒業研究のテーマ設定、調査方法、データ収集等についての理解 DP2	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
卒業研究の内容が独創的か、論理展開がしっかりしているか DP2 DP4	独創的な内容で論理展開も優れている	独創的な内容があり論理展開も優れている	論文としての論理展開が十分である	論文の形式を満足している

教科書 教科書は使用しない。

参考書等 論文の作成方法等に関する文献等については、ゼミの時間に適宜指示する

履修上の注意・学修支援

- 1.ゼミには積極的な参加し、ゼミ生相互の交流を通じて問題意識の深化を図ること
- 2.何かわからないことがあったら、早めに相談すること。なお、相談は、原則としてオフィスアワーの時間に受け付ける。